

令和2年度の目玉研究等 野菜研究所

◆あおもりながいも産地力強化推進事業 「ナガイモ多収栽培技術、機械化栽培技術」研究

【背景】

- ・本県のながいもの単収は北海道に比べ低い水準にとどまっている。
- ・野菜研究所では以前、高支柱栽培が多収になることを明らかにしたが、通常の支柱栽培より労力がかかるという面がある。
- ・労働力を確保することが年々難しくなり、労働力不足に対応した省力技術が求められている。

【目的】

- ・通常の支柱栽培で、高支柱栽培並みの多収を目指す。
- ・市販されている最先端機械等を導入することで、栽培管理の省力化・軽労化を目指す。

【R2目標】

- ・高支柱栽培並みの収量を、種いもの早期芽欠き処理と追肥開始時期の改善により達成する。
- ・自動操舵トラクタ、自走式植付け機、幅狭トラクタ、ドローン、支柱抜き機の導入による省力効果を検討する。

【今後】

- ・得られた成果を提示し、現場に活用してもらう。



自走式の種いもの植付け機



乗用の幅狭トラクタ



ドローンによる薬剤散布



トラクタの後ろに付ける
支柱抜き機



ながいもの試験ほ場

お問い合わせ

野菜研究所 栽培部（電話0176-53-7171）



青森産技

あおもりの未来
技術でサポート